

最終評価シート

■新規: H27年度から新規協定を結んだ指定管理者
 ■継続: 前回指定期間から継続して管理している指定管理者

公園名	指定管理者	
観音崎公園	観音崎公園パートナーズ（継続） 【横浜緑地(株)・福利園建設(株)】	
最終評価	評価対象年度	指定期間
良好	平成30年度	4年目(7年間) 【通算13年目】

■項目別の評価結果

1. 適切な管理運営業務の執行 S ・植物管理では、海岸、樹林など、自然条件によりエリアを設定し、整備方針を決めていること、自生ヤマユリについて二つの栽培方法を実施し、約80個の球根を園内に植栽したことやスカイツリーまでの眺望を確保したことで、見どころを提供し、公園利用のリピーターを増やした点等、特筆すべき管理状況であった。 ・サービス向上では、明治150年記念イベントの実施、公園施設を活用した健康サンデーの実施、閑散期対策イベントとして謎解きスタンプラリーの4公園連携しての実施、横須賀市の公園と連携した宝探しの実施など新規のイベント開催したことや、本部の協力で、プレスリリースの効果的な活用を検証しながら広告を実施したこと等、特筆すべき管理状況であった。 ・施設管理、清掃、環境への配慮、利用者対応、安全管理は、事業計画に沿って管理運営が行われていた。		3. 事業効果 B ・アンケート結果によると、植物管理、清潔さ、接客の満足度は「高い」評価となっているものの、安全・安心の満足度は「普通」という評価となっていた。 ・接客では「行き先等をきいても親切におしえてもらえた」との意見があった。 ・植物では「自然が大事にされている」「自宅近辺にはない樹木があったりして楽しめました」などの意見があった。 ・自由意見では、「気持ちの良い公園でほぼ毎日来たい」「樹木等に名称を付けてほしい」「案内がもう少しわかりやすいと尚よいと思います」などの意見があった。 ・平成30年度の公園利用者数は、5年目の年間目標値843千人に対して867千人であった。	
2. 業務執行体制 S ・事業計画に沿った職員配置、本部との連携、人材育成など適切な運営体制が確保されていた。 ・個人情報保護、関係法令等が適正に遵守されていた。 ・地域との連携では、CSR活動として、ワンフラーFOR10スマイルプロジェクト(H30年は計画1,200名に対し1,748名が参加)を実施したこと、浦賀警察と連携して、夜間パトロールなどを実施し、地域の安全を高めたこと等、特筆すべき管理状況であった。		4. 個別項目 S ・「多様な「地域の交流」拠点づくり」「地元団体、関係機関との積極的な連携」については、事業計画に沿って管理運営が行われていた。 ・「サービス向上のためのイベント展開」については、地域住民の健康振興のため、「健康サンデー」を実施し、参加者を増やすため、ラジオ体操が終わった後、花の種を配ったこと、ロコモチャレンジのチェックシート等を配布し、健康推進を行ったこと等、特筆すべき管理状況であった。	
		5. 提案の履行 A ・「多様な専門家の指導による適切かつ効率的な植物の育成管理」「事故の防止や注意喚起を行う」等の提案について、提案通りの取り組みが行われていた。	

■特記事項

管理状況が良く今後も継続が望まれる点 ・4つの県立公園の利用促進のため、連携して実施したスタンプラリーイベントは、今後も継続が望まれる。 ・花苗1つ購入するごとに、種10粒を公園に還元する「ワンフラーFOR10スマイルプロジェクト」は、今後も継続が望まれる。 ・横浜緑地本部とのCSR活動で実施したパークバス運行は、今後も継続が望まれる。	今後取り組むべき点や改善が望まれる点 ・謎解きスタンプラリーの継続実施において、暑い時期を避ける等、参加しやすい時期の設定、プログラム内容の更新、参加公園の拡大等の工夫が望まれる。 ・樹林地がある公園の特性を考慮し、樹木を起因とした事故を未然に防止するための日常点検や倒木の恐れがある枯損木等の処理など、公園来園者の安全確保に積極的に取り組むことが望まれる。
---	--

<最終評価の基準>

「特に優良」 県が求めている管理運営業務の執行状況・執行体制・事業効果に対し、特に優秀な実績・成果をおさめている。[Sが3つ以上、B、Cがない]
 「優良」 県が求めている管理運営業務の執行状況・執行体制・事業効果に対し、優秀な実績・成果をおさめている。[B、Cがない]
 「良好」 県が求めている管理運営業務の執行状況・執行体制・事業効果に適合している。[Cがなく、「特に優良」「優良」以外]
 「一部良好でない」 県が求めている管理運営業務の執行状況・執行体制・事業効果に対し、一部において適合していない。[Cが1つ以上ある]